

新たな学校づくりの優先順位について

町田市立学校の学校統廃合を契機とした新たな学校づくりの優先順位について、「町田市立学校の適正規模・適正配置の基本的な考え方」に基づき、小規模校を早期に適正規模とすることを重視して、下記の優先順位を提案します。

原則として、統合可能年度の早い通学区域を優先するものとし、統合可能年度が同じ年度の場合には、児童数または生徒数の少ない学校の優先順位を上位としています。

ただし、各校の老朽化の状況や改修等の履歴が異なることから、審議会からの答申後に、教育委員会において老朽化の状況等を踏まえた優先順位を改めて検討いたします。

(1) 小学校

優先 順位	学校名 (候補地名)	学校 候補地	統合可能年度		建築情報		
			④	児童数 (学級数) ⑤	建築 年度 ⑥	経過年数 (2020) ⑦	経過年数 (統合可能 年度) ⑧
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
1位	大戸 相原	○	2020	564 (18学級)	1983	37	37
					1968	52	52
2位	本町田東 本町田 町田第三	○	2020	598 (18学級)	1970	50	50
					1977	43	43
			2028	750(24学級)	1965	55	63
3位	高ヶ坂 町田第六 南大谷	○	2020	646 (19学級)	1978	42	42
					1964	56	56
			2038	828(24学級)	1973	47	65
4位	南第二 南成瀬	○	2020	684 (20学級)	1978	42	42
					1980	40	40
5位	鶴川第三 鶴川第四	○	2020	727 (21学級)	1967	53	53
					1970	50	50
6位	小山田南 小山田	○	2025	719 (24学級)	1983	37	42
					1980	40	45
7位	南第四 南第三	○	2026	740 (24学級)	1966	54	60
					1970	50	56
8位	金井スポーツ広場 金井 藤の台	○	2030	782 (24学級)	-	-	-
					1977	43	53
					1972	48	58
9位	木曽境川 忠生第三	○	2031	681 (24学級)	1977	43	54
					1974	46	57
10位	つくし野セントラルパーク つくし野 南つくし野	○ (○)	2031	763 (24学級)	-	-	-
					1970	50	61
					1980	40	51
11位	函師 山崎 忠生	○	2031	790 (24学級)	2008	12	23
					1980	40	51
					1966	54	65
12位	大蔵 鶴川第一	○	2032	726 (24学級)	1980	40	52
					2015	5	17
13位	成瀬台 成瀬中央	○	2034	762 (24学級)	1974	46	60
					1979	41	55

※通学区域の統合を段階的に行う可能性がある通学区域は、項目④、⑤について2段書きで表記しています。

(2) 中学校

統廃合 優先 順位 ①	学校名 (候補地名) ②	学校 候補地 ③	統合可能年度		建築情報		
			④	生徒数 (学級数) ⑤	建築 年度 ⑥	経過年数 (2020) ⑦	経過年数 (統合可能 年度) ⑧
1位	武蔵岡	○	2020	622 (18学級)	1983	37	37
	堺				1972	48	48
2位	金井	○	2021	615 (18学級)	1984	36	37
	薬師				1970	50	51
3位	山崎	(○)	2030	616 (18学級)	1979	41	51
	木曾山崎公園	○			-	-	-
	町田第三				1967	53	63
4位	忠生	○	2035	653 (18学級)	1973	47	62
	小山田				1983	37	52
5位	鶴川第二	○	2031	756 (21学級)	1972	48	59
	真光寺				1980	40	51